

# 平成28年度

## 取組の進捗状況・今後の対応方針の取りまとめ 【概要版/航空分野】

北海道ブロック連絡会 航空・港湾WG  
平成28年12月

## 1 - ① 新千歳空港 国際線スポット不足

重要度：高 時間軸：長

地域	現状及び課題		
新千歳空港	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近距離国際便が集中（特に12時～13時台）するため、国際線スポットが混雑。</li> <li>・2012年9月のトランスアジア航空・台北線及び同年10月のタイ国際航空・バンコク線開設以降の国際定期便需要の大幅な高まりにより、国際線スポット空き時間帯及び施設要件の面から、国際チャーター便を含めた受け入れ希望について、現状スポットでは対応が困難な状況。</li> </ul>		
実施主体	スケジュール		
	平成28年度内	平成29年度内	平成30年度
東京航空局	<p>「新千歳空港国際線ターミナル地域再編事業」において、国際線エプロン3スポット分の拡張整備に着手。平成30年度末完成に向けて、平成28年9月初弾工事発注。11月中旬に着工。更に、工期短縮に向けて調整中。</p>		
北海道開発局			

## 1 - ⑧ 新千歳空港 輻輳を生じる走行導線の確保

重要度：高 時間軸：長

地域	現状及び課題		
新千歳空港	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際線の発着の通路となるJ1～J3誘導路は、国内線エプロンの#0～#10番スポットにイン・アウトする航空機の影響を受け渋滞が発生。国際便が集中する時間帯には、その影響が国際線スポットにも及び、便の定時制、空港処理能力にも影響。</li> </ul>		
実施主体	スケジュール		
	平成28年度内	平成29年度内	平成30年度以降
東京航空局	<p>「新千歳空港国際線ターミナル地域再編事業」において、南側誘導路整備（新設）に着手。平成31年度末完成に向けて、平成28年9月初弾工事発注。11月中旬に着工。</p>		
北海道開発局			

## 1 - ② 運用時間「乗入制限」

重要度：高 時間軸：短

地域	現状及び課題		
新千歳空港	<ul style="list-style-type: none"> <li>一部外国航空機の乗入制限があるため、特定の曜日・時間帯に便が集中。</li> <li>乗入制限「火・水は12時～16時、金は17時以降、土・日は終日の発着が可能」</li> </ul>		
実施主体	スケジュール		
	平成28年度内	平成29年度内	平成30年度以降
	平成28年冬ダイヤ(2016.10.30～)から一部の制限が緩和		

## 1 - ③ 発着枠の拡大

重要度：高 時間軸：短

地域	現状及び課題		
北海道	<ul style="list-style-type: none"> <li>国内便の発着を合わせた枠が既に一杯であり、便の集中を平準化し、国際線ターミナルビルにおける混雑緩和を図ることが困難。</li> <li>2015年度夏季および冬季多客期において発着枠(32)を最大5発着回まで拡大する試行運用を実施。</li> <li>深夜・早朝時間帯の発着枠について、2016年夏ダイヤから1日30枠での本格運用が開始され、国内定期便は1日最大14便が就航したほか、国際便は臨時・チャーター便として、期間中16便が運航したところ。</li> </ul>		
実施主体	スケジュール		
	平成28年度内	平成29年度内	平成30年度以降
	平成29年夏ダイヤ(2017.3.26～)42枠に拡大		
航空局	新たな管制方式の導入		
東京航空局	夏季および冬季多客期に枠拡大試行運用実施		

## 1 - ④ 空港施設の容量不足

重要度：高 時間軸：長

地域	現状及び課題
新千歳空港	<p><b>空港施設の容量不足（チェックインカウンター・バスラウンジ・入国審査ブース など）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 新千歳空港                     <ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;チェックインカウンター不足&gt;                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・国際線のチェックインカウンターは36ブース設置されているが、出発便の集中時間帯においては、各社のやりくりで凌いでいるところ。</li> <li>・今後も増便が想定されることから、これまで以上の混雑が予想され、サービスの低下が懸念される。</li> </ul> </li> <li>&lt;バスラウンジ不足&gt;                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・バス専用ラウンジが無く、出発階(3階)にあるバス用搭乗ゲート(1カ所のみ)からエスカレーターにより1階に移動してバスへ搭乗している。</li> <li>・オープンスポットでの搭乗が重なった場合、先行する便の旅客搬送が完了した後に次便の旅客を取り扱うこととなる。</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>
道内他の空港	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 函館空港・旭川空港                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・大型機材の受入れ又は複数機材の同時受入れに対応するだけの空港施設の容量が不足。</li> </ul> </li> <li>○ 釧路・帯広・女満別空港                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・ビルの構造上、国際線と国内線の同時受入れができないため、国際線の受入れ可能な時間帯に強い制限がかかる。</li> </ul> </li> </ul>

実施主体	スケジュール		
	平成28年度内	平成29年度内	平成30年度以降
新千歳空港ビル会社	カウンター及びバス用搭乗ゲートを増設 入国審査ブースを増設	国際線ターミナルビルを増築（諸施設の狭隘化を解消。平成31年中完成予定）	
函館空港ビル会社	国際線旅客エリアの拡張 入国審査ブース増設		
旭川空港ビル会社	ターミナルビル増改築設計	ターミナルビル増改築	
帯広空港ビル会社	ターミナルビル・固定橋増築 CIQ施設・手荷物受取所増設	PBB増設	

## 1 - ⑤ グランドハンドリング体制の充実(1/2)

重要度：高 時間軸：長

地域	現状及び課題
新千歳 空港	<p><b>グランドハンドリング体制の充実（人員・ランプバス・給油）</b></p> <p>○ 新千歳空港</p> <p>&lt;人員不足&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 季節偏差が大きく、少ない人員でピーク時に対応するため、新規就航や増便のほか、チャーター便への柔軟な対応力に難がある。</li> <li>・ サービスの低下が懸念される。</li> </ul> <p>&lt;ランプバス不足&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全国的なバス不足、車両の入手が困難（新車：高額、中古車：在庫不足）</li> <li>・ 運転手不足（大型2種免許が必要）が課題。</li> <li>・ 国際線ターミナルの整備を控え、バスの投資が過大投資になる可能性がある。</li> </ul> <p>&lt;給油事情&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人員不足、車両不足が課題</li> </ul>
道内地 方空港	<p>○ 人材不足</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ いずれの空港も、インバウンド需要の増大を背景に、現施設の拡充等が行われた場合には、体制充実のための対応が必要。</li> </ul>

## 1 - ⑤ グランドハンドリング体制の充実(2/2)

重要度：高 時間軸：長

実施主体	スケジュール		
	平成28年度内	平成29年度内	平成30年度以降
航空局	<ul style="list-style-type: none"> <li>一定条件のもとに、Ⅱ種免許要件の緩和及び講習・試験を免除</li> </ul>		
グラハン・給油会社	<ul style="list-style-type: none"> <li>新規採用の促進、他空港からの応援により対応</li> <li>事業者(グラハン2社・給油1社)の新規参入による体制強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き新規採用の促進により対応</li> </ul>	
グラハン会社	<ul style="list-style-type: none"> <li>各社が所有するバスの貸し借り、バスの増車、外部バス事業者の乗り入れ要請により対応</li> </ul>		
給油施設会社 (新千歳)	<ul style="list-style-type: none"> <li>増設予定の3スポットにハイドラント施設を整備する（平成30年度未完成予定）</li> </ul>		
北海道	<ul style="list-style-type: none"> <li>空港間広域応援に対する支援（補助事業）を実施</li> <li>グラウンドハンドリング事業者の新規採用を促進するための支援（補助事業）を実施</li> </ul>		
旭川市	<ul style="list-style-type: none"> <li>グラウンドハンドリングの急な撤退やオフピーク時の余剰人員発生リスクに対応するための支援を実施</li> </ul>		

## 1 - ⑥ ターミナルビル施設の機能向上

重要度：高 時間軸：長

地域	現状及び課題
北海道 釧路・道内 空港	<p>○free・Wi-Fi設備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・離島（奥尻、利尻）空港を除き無料Wi-Fi設備については、対応済み。</li> <li>・釧路空港では、メール認証による利用開始手続きが煩わしい等、free・Wi-Fi圏からの訪日外国人旅行者が求める利用利便に応えられていない状況。</li> <li>・防災情報・観光・おすすめ品情報の提供面からも、より容易に接続可能な無料Wi-Fi環境の提供が必要。</li> </ul>

実施主体	スケジュール		
	平成28年度内	平成29年度内	平成30年度以降
空港ビル会社	<p>○ 釧路空港</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・メール認証を必要としないfree・Wi-Fi設備を検討。</li> </ul> <p>○ 道内全空港</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・free・Wi-Fi認証手続きの一元・簡易化について、空港間での連携を推進。</li> </ul>	<p>○ 道内全空港</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・free・Wi-Fi認証手続きの一元・簡易化について、空港間での連携を推進。</li> </ul>	

## 1 - ⑦ 空港アクセスの充実

重要度：高 時間軸：長

地域	現状及び課題
北海道 道内 全空港	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訪日外国人旅行者の需要増加に対応するため、二次交通(鉄道、バス、タクシーなど)事業者間の連携・調整が不可欠。</li> <li>・平成29年夏ダイヤ(2017.3.26～)から発着枠が42に拡大することを踏まえ、2次交通アクセスの確保といった受入体制の充実。</li> <li>・バスの乗降場・待機場では、便が集中する時間帯に混雑し、円滑な利用の支障になっている。</li> </ul>

実施主体	スケジュール		
	平成28年度内	平成29年度内	平成30年度以降
空港内事業者 交通事業者 自治体等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・需要規模に見合うアクセス本数の検討。</li> <li>・バス乗降場・待機場・駐車場などの拡張・増設の検討。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・需要規模に見合うアクセス本数の確保。</li> <li>・バス乗降場・待機場・駐車場などの拡張、増設。</li> </ul>	
北海道	<ul style="list-style-type: none"> <li>・深夜・早朝便の運航状況の把握</li> <li>・二次交通事業者などへの情報提供</li> <li>・深夜・早朝時間帯における受入体制の確保</li> <li>・二次交通アクセスの拡充に向けた検討</li> </ul>		

































